令和元年度 第3回 一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議 議事録

日 時:令和2年1月31日(金) 午前10時~11時40分

会 場:一宮市役所 本庁舎 14 階 1401 大会議室

出席者:委員16人、出席した市職員7人 ※欠席委員4人

傍聴者:0人

1 開会

委員交代の報告(前回の会議から2人の委員が変更)

- 2 委員の出欠、傍聴者の報告
- 3 資料の差替え(送付した資料3 (素案)の一部分の変更案を配付)
- 4 議事
 - (1) 第2期総合戦略の素案について
 - ■事務局から「資料2 (国の第2期総合戦略 概要)」「資料3 (素案) (前半)」について説明
 - ・【資料2・3】国の第2期総合戦略の概要と国を勘案した市の対応、前回会議で示した骨子からの主な変更点について説明した。
 - ■「資料2」・「資料3〈前半〉」についての委員意見
 - ・意見なし
 - ■事務局から「資料3〈後半〉」について説明
 - ・【資料3】「第2期総合戦略【素案】」の施策の数値目標・重要業績評価指標(KPI)の設定を中心に説明した。
 - ■「資料3 (後半)」についての委員意見

▽委員

・国に合わせて政策体系を見直したとのことだが、「横断的な目標」については、「Society5.0」 と「SDGs」以外に何か目標を設定しているのか。

▼事務局

- 「横断的な目標2」のうち、「Society5.0の推進」は、基本目標5の「②未来技術も含めた 行政サービスの推進」で取り組み、「SDGs」は、基本目標1から5の全体に対応するゴール を明示して推進する。「横断的な目標1」の「多様な人材の活躍を推進する」は、SDGs の 「ゴール17(パートナーシップ)」のアイコンをすべての基本目標に関連づけており、全 体的に多様な人々による地方創生の推進を進めていきたいと考えている。また、「誰もが活 躍する地域社会の推進」については、基本目標4の「就職支援」の施策において明記して いる。

▽委員

・基本目標2の「④中心市街地の活性化」の施策には、「効率的な土地利用により中心市街地への居住誘導を進める」という記載があり、KPIも「一宮駅周辺地区の居住人口」を設

定しているが、過去5年、10年遡った場合、数値の推移はどうなっているのか。

▼事務局

・手元にあるのは過去3年分だが、平成 29 年4月時点では 17,975 人、30 年4月時点では 18,013 人、31 年4月時点では 17,922 人である。大きく変動はしていない。

▽委員

・年末の日経新聞に、コンパクトシティ施策の先進地である富山市においてもコンパクトシ ティ化はあまり進んでおらず、市の周辺部に新しい宅地がどんどん拡散している傾向があ るということ。また、約1,700の自治体の中で1,400近くの自治体でこのように郊外の宅 地化が進んでいるという内容の記事があった。一宮市は現状、どういう状況なのか。

▼事務局

・一宮市の場合も、郊外において宅地化が進んでいる実態がある。ただ、市としては、コンパクトシティ施策として、都市計画部門で立地適正化計画を策定しており、各拠点を公共交通ネットワークでつなぐこととしている。今回指標を設定した「一宮駅周辺地区」についても、「都市機能誘導区域」と定めており、都市機能の集積を図る方針としている。

▽委員

・KPI「一宮駅周辺地区の居住人口」のところで、基準値(平成30年度)は18,000人を超えているが、目標としては、人口が減るがこの地区における人口は維持する、下げ止まりを目指すという捉え方でよいのか。

▼事務局

・当該地区の人口を現状と同程度に維持していくという目標である。

▽委員

- ・名古屋市では駅前の容積率を栄で1,000%から1,300%に変更したが、一宮市でも、もう少し容積率を緩和する地域を広げる考えはないか。不動産屋は、東京は土地が高いので魅力がない、リニアが開通するため一宮市は将来性がある、との見方で一宮市をターゲットにしている。一宮市の栄地区ではマンション建築が増えているので、「一宮駅周辺地区の居住人口」の目標値をもっと高くしても良いと思う。一宮市はベットタウンとして割り切れば人口は伸びていくと思う。
- ・一宮市は坂が少ないので、「高齢になっても住みやすいまち」など、市の良さを列記してア ピールしていくことで、人口ももっと増やすことができると思う。
- ・40 代の独身者も多くいるので婚活事業の対象の年齢を上げてチャンスをつくることで結婚 する人が増え、自然増につながるのではないか。

▼事務局

- ・名古屋市は容積率を更に上げたが、様々な制約もある。今後も、状況に応じて判断していく と思う。
- ・ 商工会議所も市も出会い支援等に取り組んできたが、合計特殊出生率を上げるまでの効果 は出ていないというのが現状である。国は第2期総合戦略の開始にあたり、地域ごとの課題

を数値化するようなツールを整備して少子化対策を進めることとしているので、市も国・県 と連携して少子化対策に取り組んでいきたい。

▽委員

- ・今回の素案では、SDGs のことが掲載されたが、2年程前に国際交流協会の七夕祭りのイベントでSDGs のワークショップに参加した。子どもにもわかるようにカードゲームを使ったもので、楽しくSDGs のことを学べた。学校や企業でも取り入れて、地方創生についても関連させて進めると良いと思う。
- ・今年度、オリナス一宮でギリシャ交流イベントがあったが、今回のみで終わりなのか、それ とも関係を継続してやっていくのか。ミズベリングに絡めていくと面白いと思う。

▼事務局

- ・SDGs については、2015 年から国が推進しており、あらゆる分野で進めていく流れになっている。市としても地方創生に向けて SDGs を原動力に進めていこうという考えでおり、今回、県に倣い、素案に SDGs を紐づけしたので、今後、市の内部においても浸透していくと思う。
- ・ギリシャのイオアニナ市とは、水辺が身近にあるという点が一宮市と共通している。今回の みで終わりではなく、今後も何らかの形で関係を続けていくかと思う。また、ミズベリング については、市の重要施策の一つでもあるので、行政のみではなく NPO など様々な関連分 野の方に力を借りながら進めていく考えでいる。

▽委員

・SDGs の官民連携に関しては、日本青年会議所が推進している。一宮青年会議所も活動としては以前から取り組んでいるが、2020年1月から公にSDGs を推進しており、今後、事業も行っていく予定でいる。SDGs はキャッチーな言葉であり、市民の方を巻き込む環境ができつつあると感じている。SDGs を進めるには、市民が自ら考えることが重要だと思うので、「市民の巻き込み」が鍵になると思う。

▽委員

・私は今日初めてこの会議に参加したが、第 1 期の総合戦略はどの程度の市民が認知していて活動しているのか。また、市民の巻き込みはどのようにしているのか教えてほしい。

▼事務局

・平成27年度に国から、人口減少に歯止めをかけ、地方を活性化するためにそれぞれの自治体の特色を生かして頑張ろうという方針が示された。市民を始めとし、産・官・学・金・労・言の各団体の方の意見を聞き、また、アンケート等の意見聴取も行い、試行錯誤しながら5年間取り組んできたので、市民の皆さんにも少なからず周知が出来ていると考えている。

▽委員

・基本目標4の数値目標「納税義務者数(所得割)」は、個人事業者ということか。増やすこととしているので、なかなかチャレンジングな目標だと思う。

・創業支援は、政策金融公庫でも行っているので、KPI「創業相談件数」に公庫での件数も加えてはどうか。

▼事務局

- 「納税義務者数 (所得割)」という KPI は、市県民税の所得割が課税されている個人のことを指している。この数値は近年、実際に増加傾向にあり、また、18 ページの KPI 「25~49 歳の人口」も社会増を目指しているため、これを受けて、納税義務者数も増加を目指す目標とした。
- 「創業相談件数」の算出方法については、別途、ご相談させていただく。
 - ※KPI「創業相談件数」は創業支援計画における創業支援事業者が実施した相談件数としており、 目標値も同計画から引用していることから、会議後、政策金融公庫と相談した結果、算出方法 は変更しないこととしました。

▽委員

- ・人数をカウントしている数値目標・KPIでは、延べ人数なのかどうかわかるように表記してはどうか。
- ・基本目標2「②自然と親しめる木曽川沿川の整備」では、KPI「遊歩道・自転車道の整備総 延長」を設定しているが、施策名に合致するような他のKPIも検討してはどうか。
- ・基本目標1「⑤特色ある教育」は、本文に「一宮市独自の教育を展開する…」とあるが、「市 独自の教育」に関する事業が記載されていないように思う。

▽委員

- ・基本目標1は、市でも出会い支援や子育て支援などに取り組んでいるが、数値目標「合計特殊出生率」は、国の統計でもあまり良くない数字であった。出生数は男女比も関連するので、 5ページ「第2章 第1期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価」に一宮市の男女の数なども示すと良いのではないか。
- ・基本目標5の施策②のうち、「AI チャットボット」は注釈を加えた方が良いのではないか。

▼事務局

- 男女の割合のグラフについては、全体のスペース等のバランスも考えて一度検討する。
- ・AI チャットボットについては、P29 の②の本文に解説があるが、もう少しわかりやすい表現となるよう工夫する。

▽委員

・基本目標2の KPI「25~49 歳の人口の社会増」を目指すというのは非常に素晴らしい。現在、繊維産業では「尾州マーク」を一生懸命宣伝しているが、「尾州マーク」は愛着や誇りの面からも非常に大事なものだと考えている。特に一宮市は女性の割合が高いので、文化やファッション産業などの側面も大変重要だと思っている。産業振興の面からも、女性にとって魅力ある仕事づくり、地域密着型の環境づくりを進めていただけるとありがたい。

(2) その他

- ■事務局から「(2) その他」について説明
- 5 部長あいさつ
- 6 閉会